

山形県最上地域生活困窮者子どもの学習・生活支援事業業務仕様書

1 業務の名称

山形県最上地域生活困窮者子どもの学習・生活支援事業業務

2 業務の目的

生活保護世帯及び生活困窮世帯の子どもの学力やつまづきに対応しながら、学習指導のほか、生活習慣・育成環境の改善、進路選択に関する支援などを通じ、貧困の連鎖を防止するとともに、子どもの社会的自立を促すことを目的とする。

3 委託期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

4 事業実施にあたっての留意事項

事業の実施にあたっては、「生活困窮者自立相談支援事業等実施要綱」（平成27年7月27日付け社援発0727第2号厚生労働省社会・援護局長通知）の別添7「生活困窮世帯の子どもに対する学習・生活支援事業実施要領」などの関連通知を参照すること。

5 対象者

最上総合支庁管内郡部全域の生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の子どもの対象とする。

6 業務の実施方法及び実施規模

(1) 業務の実施方法

- ① 生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の子どもの基礎学力の向上を図るため、最上地域子どものあした塾（以下「あした塾」という。）を実施する。
- ② 実施方法は、原則、個別訪問方式とするが、対象者の事情に応じ、通所方式も可能とし、実施回数は週1回以上、各回90分から120分程度とすること。
- ③ 学習支援員は、学習支援プログラムを作成のうえ、学習支援を行うほか、学習の重要性についての保護者の理解促進、支援対象者の相談対応等を行うこと。

(2) 業務の実施規模

- ① 個別訪問方式による支援について、定員は9人程度とする。
- ② 通所方式による支援についても対応できるようにする。

7 人員配置

教育相談や学習支援を行う教育支援員を確保すること。

8 業務の内容

生活困窮者の自立促進のための生活困窮家庭での養育相談や学び直しの機会の提供、学習支援等を行う。

9 支援方針

支援を行うに当たっては、学校や放課後児童クラブなど、関係機関と連携し、対象となる子どもを把握し、対象となる子どもや親等と認識や目標の共有を図りつつ信頼関係を構築した上で、支援対象者の状況や変化に応じて、計画的かつ一貫して支援を行う。

10 業務報告

- (1) 受託者は、委託事業の実施状況を以下の①から②までについては翌月10日までに、③、④については随時、報告すること。

- ① 利用者毎の支援実績
- ② 支援の成果
- ③ 利用者からの意見・苦情
- ④ その他必要と認める報告

(2) 業務完了後は、すみやかに業務完了報告書に収支決算書を添えて最上総合支庁に提出すること。

11 関係書類の整備

委託業務に係る会計は、他の業務に係る会計と区別して経理するとともに、会計関係帳簿等の本業務に係る書類を5年間保存すること。

12 業務実施上の留意事項

(1) 業務の一括再委託の禁止

受託者は、受託した業務を一括して第三者に委託し、又は請け負わせることはできない。ただし、業務を効率的に行ううえで必要と思われる業務については、最上総合支庁と協議の上、業務の一部を委託することができる。

(2) 個人情報の取扱い

個人情報の取扱いについては、個人情報の保護に関する法令に基づき、その取扱いに十分留意し、漏えい、滅失及び毀損の防止その他個人情報の保護に努めること。

また、支援対象者については、支援内容の必要性から国や自治体等の関係機関へ個人情報を提供する場合があることを十分説明し、書面により同意を得ること。

(3) 守秘義務

受託者は本委託業務を行うにあたり、業務上知り得た秘密を他に漏らし、又は自己の利益のため利用することができない。また、業務委託終了後も同様とする。

(4) 労働関係法令の遵守

受託者は、従事者の雇用にあたっては、労働基準法、最低賃金法及び労働安全衛生法等の労働関係法令を遵守すること。

13 その他

受託者は本仕様に疑義が生じたとき、又は本仕様書により難しい事由及び記載されていない事項が生じたときは、最上総合支庁と速やかに協議を行い、その指示に従うこととする。